



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 ギークス株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7060 URL https://geechs.com
 代表者 (役職名) 代表取締役CEO (氏名) 曾根原稔人
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 佐久間大輔 (TEL) 050-1741-6928
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	2,568	△3.9	260	△59.9	263	△59.6	145	△65.2
2022年3月期第2四半期	2,672	98.2	648	138.2	652	158.9	419	214.2

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 152百万円(△63.6%) 2022年3月期第2四半期 417百万円(210.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	13.87	13.73
2022年3月期第2四半期	39.97	39.32

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	6,017	4,541	74.7
2022年3月期	5,874	4,470	75.7

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 4,491百万円 2022年3月期 4,444百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	0.2	450	△60.3	450	△60.4	260	△63.1	24.69

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	10,569,640株	2022年3月期	10,564,840株
2023年3月期2Q	40,151株	2022年3月期	40,151株
2023年3月期2Q	10,525,503株	2022年3月期2Q	10,484,862株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	11
(重要な後発事象)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の状況

当社グループはグランドビジョンに「21世紀で最も感動を与えた会社になる」を掲げ、ITフリーランスのデータベース、グローバルで活躍するITエンジニア育成など人材インフラを活かし、インターネットの普及によりめまぐるしく変化する人々の生活や企業の行動を積極的に捉え、変化対応力を強みに、提供サービスの創造・進化を通じて常に成長し続けることで、持続的な企業価値向上を目指しております。当社グループは子会社4社を含む全4事業で構成されており、各事業セグメントは「IT人材事業」、「ゲーム事業」、「Seed Tech事業」、「x-Tech事業」の4つに分類されております。

なお、第1四半期連結会計期間より、セグメント区分を変更しており、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数字で比較分析しております。

当第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の行動制限の緩和により人流が戻りつつあるものの、為替相場における円安の進行や原材料価格の上昇に伴う物価高など、景気の下振れリスクもあり、引き続き不透明な状況が継続しております。各業界における新しい生活様式の構築に向けたIT技術を活用した取り組みやデジタルトランスフォーメーションの推進によって、IT人材や個人のITスキル強化のニーズはますます高まっていると認識しております。

このような状況下、当社グループは、2021年5月14日開示の中期経営計画「G100」（2022年3月期～2025年3月期）で掲げた方針に基づき、各種施策に継続的に取り組んでまいりました。デジタルシフトを進める企業と、新しい働き方を求める個人のそれぞれの需要を捉え、技術リソースシェアリングプラットフォームとして役割を果たすべく事業体制を構築してまいりました。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間の売上高は2,568,288千円（前年同期比3.9%減）、営業利益は260,136千円（前年同期比59.9%減）、経常利益は263,476千円（前年同期比59.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は145,955千円（前年同期比65.2%減）となりました。

セグメント別の業績は次の通りであります。

<IT人材事業>

IT人材事業におきましては、引き続き企業からの需要は高く、事業は好調に推移いたしました。タレントの加藤浩次氏をイメージキャラクターに起用した戦略的な広告投資や、営業体制強化、友人紹介キャンペーン等の各種施策が奏功した結果、新規取引企業数は着実に伸長しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は1,049,325千円（前期比21.9%増）、セグメント利益は539,636千円（同13.5%増）となりました。

<ゲーム事業>

ゲーム事業におきましては、株式会社バンダイナムコオンラインが配信する「アイドリッシュセブン」や株式会社バンダイナムコエンターテインメントが配信する「僕のヒーローアカデミア ULTRA IMPACT」等の5本のタイトルの運営と、4本のタイトルの新規開発を行っております。開発状況に合わせた適切なリソースコントロールに注力しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は1,348,983千円（前期比18.5%減）、セグメント損失は29,136千円（前年同期はセグメント利益368,460千円）となりました。

<Seed Tech事業>

Seed Tech事業におきましては、日本とフィリピンに拠点を構え、強固な連携でIT人材の育成を軸にした事業展開を行っております。法人向けSaaS型DX/IT人材育成サービス「ソダテク」の提供や、リニューアル再開したフィリピンセブ島へのIT留学事業、オフショア開発受託事業を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は74,274千円（前期比3.8%増）、セグメント損失は33,622千円（前期同期はセグメント利益8,041千円）となりました。

<x-Tech事業>

x-Tech事業におきましては、最先端の技術や手法を活用し、「テクノロジー×データ」で、ビジネスモデル変革のテクノロジーパートナーを目指し、ゴルフ等のスポーツ領域を中心としたデジタルマーケティング支援やD2C支援を行っております。

この結果、当第2四半期連結累計期間における当該事業分野の売上高は102,977千円（前期比20.2%増）、セグメント利益は27,081千円（同106.7%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産・負債及び資本の状況

(流動資産)

当第2四半期連結会計期間末の流動資産の残高は前連結会計年度末と比較して129,178千円増加し、5,653,556千円となりました。これは主に現金及び預金が198,051千円減少した一方、売掛金及び契約資産が256,821千円、前払費用が80,972千円増加したことによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期連結会計期間末の固定資産の残高は前連結会計年度末と比較して13,572千円増加し、363,488千円となりました。これは主に投資有価証券が10,592千円、繰延税金資産が8,145千円増加したことによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期連結会計期間末の流動負債の残高は前連結会計年度末と比較して73,136千円増加し、1,471,685千円となりました。これは主に買掛金が36,475千円、未払法人税等が37,691千円増加したことによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期連結会計期間末の固定負債の残高は前連結会計年度末と比較して1,356千円減少し、3,528千円となりました。これは主にリース債務が1,530千円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産の残高は前連結会計年度末と比較して70,970千円増加し、4,541,831千円となりました。これは主に利益剰余金が40,708千円、新株予約権が23,235千円増加したことによるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下、資金という）は前連結会計年度末に比べ198,051千円減少し、3,159,146千円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動による資金は、前年同期に比べ25,215千円減少し、80,307千円の減少となりました。これは主に、法人税等の支払額59,191千円、未払消費税等の減少額35,218千円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動により支出した資金は1,634千円となりました（前年同期は108,657千円の支出）。これは主に、無形固定資産の取得による支出1,500千円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動により支出した資金は111,142千円となりました（前年同期は103,118千円の支出）。これは主に、配当金の支払額104,921千円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日「2022年3月期決算短信」で公表いたしました連結業績予想から変更しております。詳細につきましては、本日（2022年11月10日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,357,198	3,159,146
売掛金及び契約資産	2,027,272	2,284,094
仕掛品	5,827	4,542
貯蔵品	467	388
前渡金	8,456	14,649
前払費用	78,283	159,255
その他	49,635	34,145
貸倒引当金	△2,763	△2,665
流動資産合計	5,524,378	5,653,556
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,097	2,190
工具、器具及び備品（純額）	5,260	5,471
リース資産（純額）	17,187	10,092
有形固定資産合計	24,545	17,754
無形固定資産		
商標権	-	1,500
ソフトウェア	581	400
無形固定資産合計	581	1,900
投資その他の資産		
投資有価証券	129,782	140,374
敷金及び保証金	112,759	112,236
長期前払費用	3,028	3,857
繰延税金資産	67,219	75,364
その他	12,000	12,000
投資その他の資産合計	324,789	343,833
固定資産合計	349,916	363,488
資産合計	5,874,294	6,017,044

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,033,545	1,070,020
未払金	98,741	68,795
未払費用	51,177	74,936
未払法人税等	101,752	139,444
未払消費税等	54,407	30,311
預り金	34,906	54,565
契約負債	9,591	17,223
リース債務	14,255	8,665
その他	171	7,721
流動負債合計	1,398,549	1,471,685
固定負債		
リース債務	3,252	1,722
その他	1,631	1,805
固定負債合計	4,884	3,528
負債合計	1,403,433	1,475,213
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,101,531	1,101,981
資本剰余金	1,051,474	1,051,924
利益剰余金	2,314,803	2,355,511
自己株式	△21,252	△21,252
株主資本合計	4,446,556	4,488,164
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	-	7,348
為替換算調整勘定	△2,426	△3,660
その他の包括利益累計額合計	△2,426	3,688
新株予約権	26,718	49,953
非支配株主持分	12	23
純資産合計	4,470,860	4,541,831
負債純資産合計	5,874,294	6,017,044

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	2,672,834	2,568,288
売上原価	1,216,129	1,233,293
売上総利益	1,456,704	1,334,995
販売費及び一般管理費	807,925	1,074,859
営業利益	648,779	260,136
営業外収益		
受取利息	18	17
補助金収入	1,840	-
為替差益	2,167	2,966
その他	332	679
営業外収益合計	4,358	3,663
営業外費用		
支払利息	70	43
株式交付費	48	-
コミットメントフィー	896	279
営業外費用合計	1,016	323
経常利益	652,121	263,476
税金等調整前四半期純利益	652,121	263,476
法人税、住民税及び事業税	143,648	127,492
法人税等調整額	89,388	△9,983
法人税等合計	233,036	117,508
四半期純利益	419,085	145,967
非支配株主に帰属する四半期純利益	4	12
親会社株主に帰属する四半期純利益	419,080	145,955

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	419,085	145,967
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	7,348
為替換算調整勘定	△1,662	△1,233
その他の包括利益合計	△1,662	6,115
四半期包括利益	417,422	152,083
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	417,419	152,071
非支配株主に係る四半期包括利益	3	11

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	652,121	263,476
減価償却費	57,477	8,363
株式報酬費用	2,459	23,235
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△22	△97
受取利息及び受取配当金	△18	△17
支払利息	70	43
補助金収入	△1,840	-
株式交付費	48	-
売上債権及び契約資産の増減額(△は増加)	△495,988	△255,772
棚卸資産の増減額(△は増加)	1,113,203	1,364
仕入債務の増減額(△は減少)	58,389	35,526
契約負債の増減額(△は減少)	△1,096,158	6,956
未払又は未収消費税等の増減額(△は減少)	△110,396	△35,218
その他	75,936	△68,949
小計	255,283	△21,089
利息及び配当金の受取額	18	17
利息の支払額	△70	△43
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△312,162	△59,191
その他	1,840	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	△55,091	△80,307
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△12,221	△1,433
無形固定資産の取得による支出	-	△1,500
敷金及び保証金の差入による支出	△56,852	△221
敷金及び保証金の回収による収入	336	1,220
資産除去債務の履行による支出	△39,920	-
その他	-	299
投資活動によるキャッシュ・フロー	△108,657	△1,634
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△3,352	△7,121
株式の発行による収入	4,806	900
自己株式の取得による支出	△53	-
配当金の支払額	△104,518	△104,921
財務活動によるキャッシュ・フロー	△103,118	△111,142
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,591	△4,966
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△269,459	△198,051
現金及び現金同等物の期首残高	3,149,695	3,357,198
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,880,235	3,159,146

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結会計期間において、新たに設立したSEED TECH PHILIPPINES INC. を連結の範囲に含めておりません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

第1四半期連結会計期間より、管理区分を見直したことにより、AR（拡張現実）などを駆使したアプリや映像制作を行う事業について、従来の「x-Tech事業」から「ゲーム事業」へ変更しております。これに伴い、前第2四半期連結累計期間の報告セグメント区分を同様に変更しております。

前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益計 算書 (注) 2
	IT人材 事業	ゲーム 事業	Seed Tech 事業	x-Tech 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	860,985	1,654,586	71,588	85,673	2,672,834	-	2,672,834
セグメント間の内部 売上高又は振替高	-	-	-	-	-	-	-
計	860,985	1,654,586	71,588	85,673	2,672,834	-	2,672,834
セグメント利益	475,385	368,460	8,041	13,102	864,989	△216,210	648,779

(注) 1. セグメント利益の調整額△216,210千円には各報告セグメントに配分していない全社費用△232,110千円及びセグメント間消去取引15,900千円が含まれております。

2. セグメント利益の合計額と調整額の合計は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期 連結損益計 算書 (注) 2
	IT人材 事業	ゲーム 事業	Seed Tech 事業	x-Tech 事業			
売上高							
外部顧客への売上高	1,048,938	1,348,983	67,389	102,977	2,568,288	-	2,568,288
セグメント間の内部 売上高又は振替高	387	-	6,885	-	7,272	△7,272	-
計	1,049,325	1,348,983	74,274	102,977	2,575,560	△7,272	2,568,288
セグメント利益 又は損失(△)	539,636	△29,136	△33,622	27,081	503,959	△243,823	260,136

(注) 1. セグメント利益又は損失の調整額△243,823千円には各報告セグメントに配分していない全社費用△262,408千円及びセグメント間消去取引18,585千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失の合計額と調整額の合計は四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2022年11月10日開催の取締役会において、豪州のIT人材サービス事業を行うLaunch Group Holdings Pty Ltd (所在地：オーストラリア、以下「Launch」という。)の株式を70%取得し、Launchとその子会社Launch Recruitment Pty Ltdを当社の連結子会社とすることを決議いたしました。

1. 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称：Launch Group Holdings Pty Ltd (純粋持株会社)

事業の内容：IT人材特化型の人材サービス事業

MSP事業 (顧客の人材調達から管理までの一連のプロセスの包括的管理システムを提供する事業)

② 企業結合を行う主な理由

当社は、「21世紀で最も感動を与えた会社になる」ことをグランドビジョンに掲げ、IT人材領域における技術リソースシェアリングエージェントや、グループ会社においてDX・IT人材育成事業を展開しております。

また、2022年3月期に策定した中期経営計画「G100」(2022年3月期～2025年3月期)においては、中長期的な成長を達成するための重要戦略として事業シナジーを創出することを目的としたM&Aを掲げております。2006年に設立されたLaunch社は、オーストラリアにおいてカジュアル雇用人材やフリーランスを活用したIT人材特化型の人材サービス事業、MSP事業(顧客の人材調達から管理までの一連のプロセスの包括的管理システムを提供する事業)を展開しております。大手企業との継続的な取引実績を持ち、取引を拡大しながら成長しております。

こうした中、本件株式取得によって、当社グループは、APAC(アジア太平洋)域内でクロスボーダーのマッチング及びIT人材育成ビジネスが可能となり、加速度的な事業拡大を追求できるものと考えております。IT人材領域を軸とした技術リソースシェアリングエージェントの拡大と進化を目指す当社グループ戦略に沿ったM&Aであり、企業価値の向上に資するものであると判断し、本件株式取得を決定いたしました。

③ 企業結合日

2023年1月(株式取得予定日)

2023年1月1日(みなし取得予定日)

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式取得

⑤ 結合後企業の名称

変更はありません。

⑥ 取得した議決権比率

70.0%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得するためであります。

2. 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

普通株式（概算額）18,887千オーストラリアドル（1,794百万円）

※日本円表記は、1 オーストラリアドルあたり95円00銭で換算しています。

3. 主要な取得関連費用の内容及び金額

アドバイザー費用等（概算額）118百万円

4. 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。

5. 企業結合日に受け入れた資産及び引き受けた負債額並びにその主な内訳

現時点では確定しておりません。